

第2号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算（第7号）

〔文化観光部所管分〕

【目次】	(予算説明書頁)	(資料頁)
[10款 教育費]		
10・6 社会教育費		
<<継続費補正>>		
文化財保存整備事業		
国指定重要文化財旧グラバー住宅	48 ~ 49	1 ~ 5
10・6・3 文化財保護費		
<<繰越明許費補正>>		
【補助】文化財保存整備事業費補助金		
伝統的建造物保存地区	62 ~ 63	6 ~ 7
【補助】景観まちづくり刷新事業費		
唐人屋敷地区	62 ~ 63	8 ~ 9
【単独】文化財保存整備事業費		
市指定史跡長崎（小島）養生所跡	62 ~ 63	10 ~ 12
[11款 災害復旧費]		
11・3・1 市有施設等災害復旧費		
<<繰越明許費補正>>		
【単独】観光施設災害復旧費		
現年度災害分	62 ~ 63	13 ~ 14



継 続 費		期 間	補 正 額
予算説明書 ページ	事 項		
48～49	文化財保存整備事業 国指定重要文化財旧グラバー住宅	平成30年度 ～令和3年度 (1カ年度延長)	千円 86,200

1 概 要

本事業は、3カ年度に及ぶ一連の事業として、事業の全体像を示し、計画的かつ段階的な事業進捗を図るため継続費を設定しているが、建物内外部の解体等により判明した施設の形状や劣化状況などを踏まえ、事業費を増額し、事業年度を延長するとともに、年割額の補正を行う。

※継続費・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経る。

2 補正の内容

区 分	ア 補 正 前	イ 補 正 後	比 較 (イーア)
事業費	385,400千円	471,600千円	86,200千円増額
事業年度	平成30年度～令和2年度	平成30年度～令和3年度	1カ年度延長 [年割額の変更]

<事業費増額の内訳>

区 分	増 額	備 考
① 床組・壁改修	5,400千円	詳細は別紙参照
② 温室屋根補強	4,500千円	
③ 排水溝改修	7,500千円	
④ 外部建具改修	4,200千円	
⑤ 灯具・電気配線補修	23,100千円	
⑥ 基礎石補修	3,050千円	
⑦ その他補修	5,390千円	
⑧ 工期延長に伴う仮設費等	29,300千円	
⑨ 設計・監理業務費等	3,760千円	
計	86,200千円	

<事業年度延長の理由>

当初設計では、建物に使用されている柱や梁などの材料について、再使用できないものを除き既存のものを残すこととしていたが、施工の過程で、想定より劣化が進行し、取り替えを要する部材等が大幅に増加すること、また、想定していた床下の土台や小屋裏の部材などが一部存在しなかったこと、さらに、部材同士の接合状態が悪く、補強が必要な箇所があることが判明し、耐震補強方法の見直しに伴う構造の再計算や補修範囲の増加が生じたため。

3 継続費の内訳

(1) 年割額

単位：円

年 度	ア 補正前	イ 補正後	増減(イーア)
平成30年度	43,300,000	43,300,000	-
令和元年度	197,000,000	197,000,000	-
令和2年度	145,100,000	20,000,000	▲125,100,000
令和3年度	-	211,300,000	211,300,000
計	385,400,000	471,600,000	86,200,000

※令和元年度～令和3年度については予定額

(2) 補正後内訳

単位：円

年 度	年割額	内 訳		
		工 事 費	設計・監理費	そ の 他
平成30年度	43,300,000	32,410,800	7,825,680	3,063,520
令和元年度	197,000,000	181,452,960	12,763,440	2,783,600
令和2年度	20,000,000	17,279,520	2,679,480	41,000
令和3年度	211,300,000	195,919,700	12,586,680	2,793,620
計	471,600,000	427,062,980	35,855,280	8,681,740

(3) 財源内訳

単位：千円

年 度	年 割 額	財 源 内 訳			
		国庫支出金 (※1)	県支出金 (※2)	地方債 (※3)	一般財源
平成 30 年度	43,300	20,163	8,065	14,300	772
令和元年度	197,000	97,197	38,878	57,800	3,125
令和 2 年度	20,000	10,000	4,000	5,700	300
令和 3 年度	211,300	104,322	41,729	61,900	3,349
計	471,600	231,682	92,672	139,700	7,546

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金（補助率）：補助対象事業費の 1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金（補助率）：補助対象事業費の 1/5

※3 合併特例事業債（充当率）：95%（交付税措置率 70%）

【繰越明許費】 予算説明書 P 6 2 ~ P 6 3

10 款 教育費 6 項 社会教育費 3 目 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	金額		財源内訳		
			国庫支出金 (※1)	県支出金 (※2)	一般財源
【補助】文化財保存整備事業費補助金 伝統的建造物群保存地区	予算現額	136,583	68,291	27,316	40,976
	支出予定額	126,583	63,291	25,316	37,976
	繰越明許額	10,000	5,000	2,000	3,000

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2
(重要伝統的建造物群保存地区保存等事業、地域計画等活用拠点形成事業)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/5

1 概要

国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の保存修理等に対し、長崎市伝統的建造物群保存地区保存条例第 11 条の規定に基づき、費用の一部について補助を行うもの。

2 事業内容

(1) 整備内容 伝統的建造物群保存地区内の特定された伝統的建造物の保存修理事業等に対する補助

- ・修理（伝統的建造物） 補助率：対象事業費の 2/3
- ・管理（環境物件） 補助率：対象事業費の 1/2（上限 2,000 千円）
- ・修景 補助率：対象事業費の 1/2（上限 6,000 千円）

(2) 対象事業費

① 活水学院本館（東山手）

伝統的建造物の耐震工事 84,930 千円（総事業費 127,395 千円）

② マリア園（南山手）

ア 伝統的建造物の耐震補強設計・外壁修理

41,653 千円（総事業費 62,480 千円）

イ ブロック塀修景

既存ブロック塀の煉瓦塀風改修 6,000 千円（総事業費 49,410 千円）

③ 環境物件の管理事業（南山手）

ア 阪井氏宅石垣 補強工事 2,000 千円（総事業費 4,442 千円）

イ 瀬崎氏宅石垣 補強工事 2,000 千円（総事業費 4,005 千円）

繰越対象事業

3 繰越理由

マリア園のブロック塀修景事業において、所有者が実施した入札が2度不調となったこと、また、環境物件の管理事業として行う個人宅石垣の補強工事において、施工範囲に共有持分が存在し、所有者間の調整に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

5 スケジュール

年度	令和元年度												令和2年度									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
ブロック塀修景	(設計調整、ボーリング調査等) 入札準備										不調1	不調2	業者ヒアリング 再入札準備					再入札	契約・着工 (工期6ヶ月程度)			
石垣管理	入札準備							共有持分 判明	所有者間 調整				入札	契約・着工 (工期2ヶ月程度)								

6 現況写真等 (南山手)



<マリア園ブロック塀>



<阪井氏宅石垣>



<瀬崎氏宅石垣>



(単位：千円)

事業名	金額		財源内訳		
			国庫支出金 (※1)	地方債 (※2)	一般財源
【補助】景観まちづくり 刷新事業費 唐人屋敷地区	予算現額	11,173	5,350	4,800	1,023
	支出予定額	3,882	1,705	1,600	577
	繰越明許額	7,291	3,645	3,200	446

※1 都市再生推進事業補助金 補助率1/2

※2 公共事業等債 充当率90% (交付税措置率22.2%)

1 概要

国の景観まちづくり刷新支援事業を活用し、旧唐人屋敷地区（土神堂・観音堂・天后堂）の景観整備に取り組み、観光都市としての魅力を高め、交流人口の拡大を図る。

2 事業内容

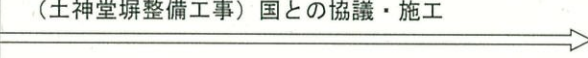
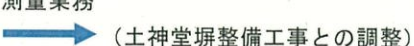

土神堂・観音堂・天后堂において、広場の修景整備を行う。

- (1)土神堂：入口板石舗装、土系舗装、植栽帯の整備、樹木の伐採、既存塀内側美装化、サインの移設、ベンチの設置
- (2)観音堂：アプローチの板石舗装、土系舗装、ベンチの設置、工作物の修景
- (3)天后堂：広場板石舗装、植栽帯の整備、ベンチの設置

3 繰越理由

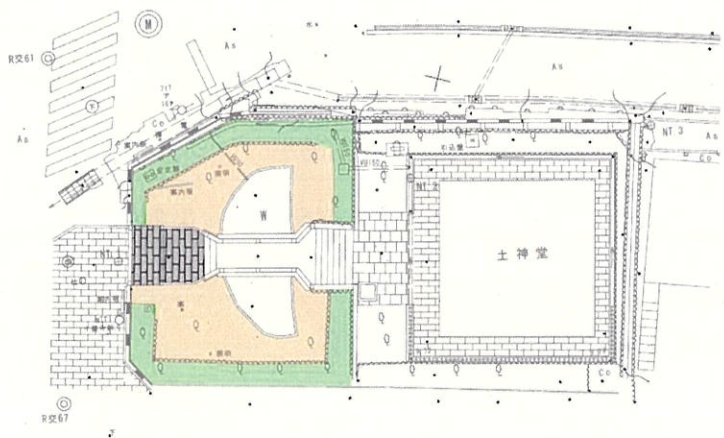
土神堂・観音堂・天后堂広場整備工事について、先に施工した土神堂塀整備工事との調整に不測の日数を要したことにより、工事が年度内に完了しない見込みであるため。

4 土神堂・観音堂・天后堂広場整備スケジュール

年度	令和元年度												令和2年度					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
工程	(土神堂塀整備工事) 国との協議・施工 																	
	土神堂・観音堂・天后堂広場整備工事 測量業務  (土神堂塀整備工事との調整)												※ランタンフェスティバル 施工 					

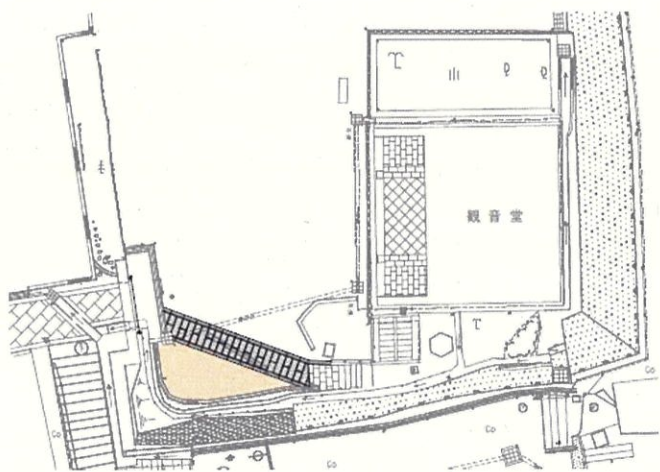
※長崎ランタンフェスティバル：令和2年1月24日～2月9日

土神堂・観音堂・天后堂広場（平面図）



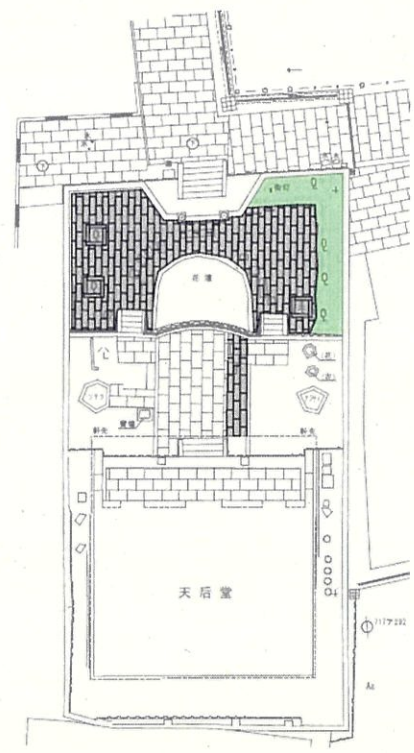
<土神堂>

- ・ 入口板石舗装
- ・ 土系舗装
- ・ 植栽帯整備
- ・ 樹木伐採
- ・ 既存塀内側美化化
- ・ サイン移設
- ・ ベンチ設置



<観音堂>

- ・ アプローチ板石舗装
- ・ 土系舗装
- ・ ベンチ設置
- ・ 工作物修景



<天后堂>

- ・ 広場板石舗装
- ・ 植栽帯整備
- ・ ベンチ設置

(凡例)	
	板石舗装
	土系舗装
	植栽帯整備

(単位：千円)

事業名	金額		財源内訳	
			地方債(※)	一般財源
【単独】文化財保存整備 事業費 市指定史跡長崎(小島) 養生所跡	予算現額	196,000	186,100	9,900
	支出予定額	112,900	107,200	5,700
	繰越明許額	83,100	78,900	4,200

※ 合併特例事業債 充当率95% (交付税措置率70%)

1 概要

日本初の西洋式近代病院である小島養生所をはじめ、医学所及び分析研究所の歴史的価値を伝えながら、関連する遺跡の適切な保存と活用を図り、後世に継承するため、埋蔵文化財発掘調査で検出した遺構のほか関係資料を展示する資料館を、仁田佐古小学校体育館に併設して整備する。

2 事業内容

区分	事業費見込額	
	事業費見込額	うち繰越明許額
躯体整備工事	57,581千円	-
展示整備	88,411千円	83,100千円
展示物製作・設置	(77,400千円)	(77,400千円)
密閉式展示ケース設置	(5,700千円)	(5,700千円)
その他備品設置等	(5,311千円)	(-)
展示整備に伴う内装(建築・電気・管)工事	47,507千円	-
資料館展示整備監理	2,301千円	-
事務費等	200千円	-
計	196,000千円	83,100千円

繰越対象経費

3 繰越理由

長崎(小島)養生所跡資料館の展示整備において、関連する内装(建築・電気・管)工事との調整に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

4 スケジュール

区分	令和元年度							令和2年度
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
躯体 (体育館)	躯体整備工事 (H30.9.21~R2.2.28)							
資料館	展示整備に伴う内装工事 (R1.11.7~R2.3.25)							
	展示整備 (R1.9.18~R2.3.31)							※1 調整期間

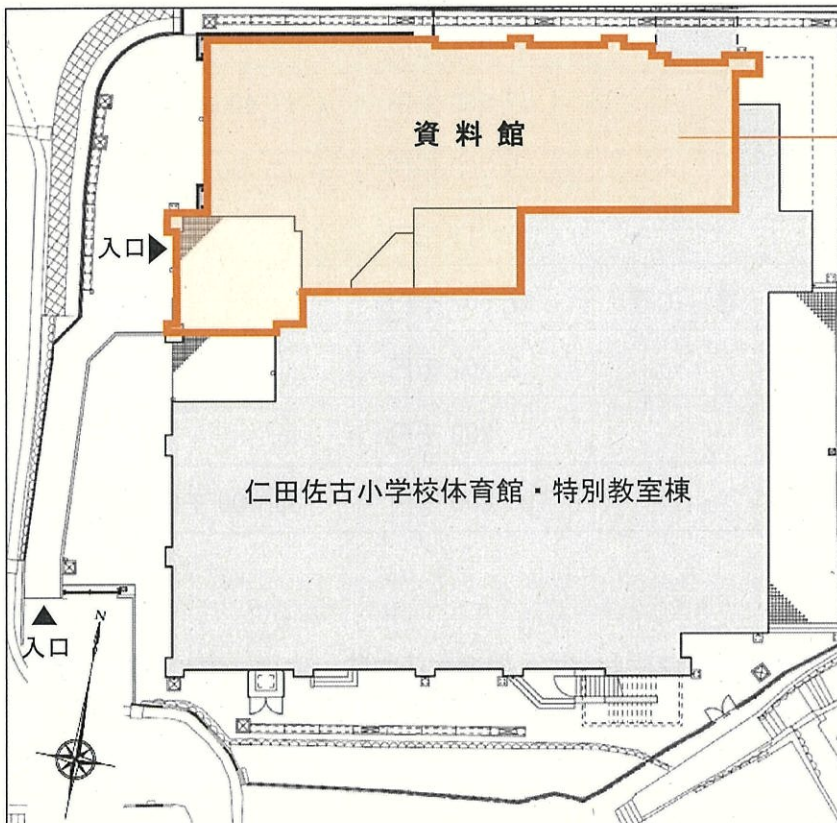
※1 調整期間 (3/1~3/14)

館内で作業が輻輳する内装(建築・電気・管)工事と調整しながら展示整備を進める。

※2 開館の前日(4月5日)に内覧会を実施予定。

【参考】長崎(小島)養生所跡資料館

(概要)

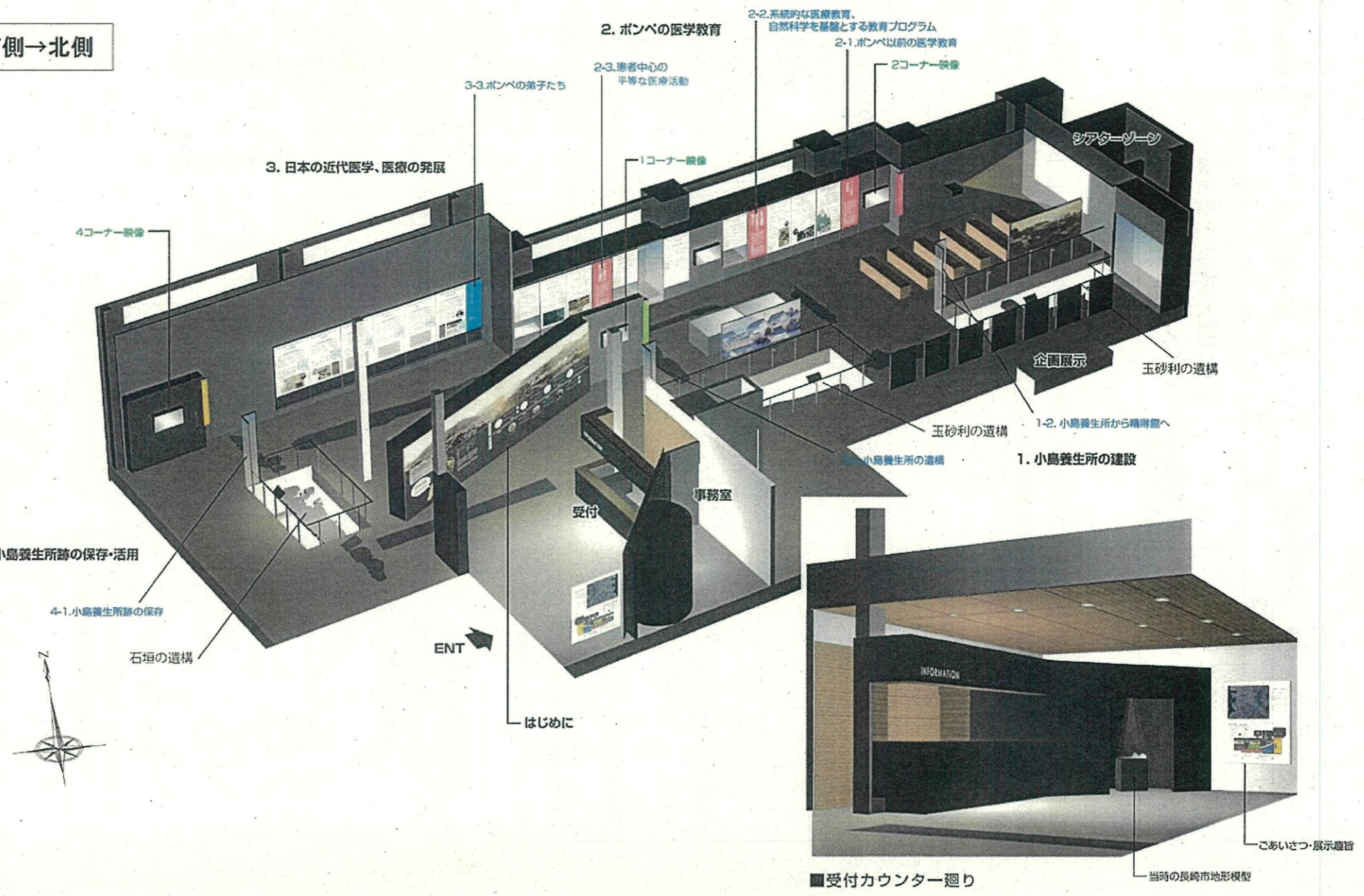


- ①所在地
西小島1丁目8番15号
- ②構造
鉄筋コンクリート造一部
鉄骨造
- ③主な施設
展示室、事務所、トイレ
- ④開館時間
午前9時~午後5時
- ⑤休館日
7. 毎週月曜日(祝日を除く)
4. 12月29日~翌年1月3日
ウ. 管理上必要な日
※必要に応じて開館可
- ⑥入館料 無料

<イメージ図>

南側→北側

12



予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許費
頁	款	項	目		
62 ? 63	11 災害復旧費	3 市有施設等 災害	1 市有施設等 災害復旧費	【単独】観光施設災害復旧費 現年度災害分	千円 19,735

1 事業の概要

稲佐山山頂にある電波塔ライトアップが令和元年8月27日の落雷により被害を受けたため、被害を受けたライトアップ設備を復旧するもの。

2 繰越明許費

金額		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
予算現額	千円 21,164	千円 —	千円 —	千円 5,100	千円 16,025	千円 39
支出予定額	千円 1,429 (光のトンネル)	千円 —	千円 —	千円 1,400	千円 —	千円 29
繰越明許額	千円 19,735	千円 —	千円 —	千円 3,700	千円 16,025	千円 10

※1 災害復旧事業債 充当率 100%(交付税措置率:47.5%)

※2 全国市有物件災害共済

3 繰越明許費の内訳

(1) 稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備雷被害復旧工事 19,735 千円
ア:照明器具(19,056 千円)

(単位:台)

	NHK塔	FM塔	民放塔	合計
故障(全損)	12	2	8	22
故障(一部)	3	6	2	11
故障無し	5	12	10	27
合計	20	20	20	60

イ:制御関係(679 千円)

DMX 変換機(照明機器に信号を送る制御機器) 1 台

信号用 SPD(避雷器) 3 台

【現況】



【被害前（復旧予定）】



4 繰越の理由

ランタンフェスティバル開催前に復旧予定であったが、電波塔所有者が実施する鉄塔塗装工事との工事期間調整の結果、ランタンフェスティバル後に復旧工事を行うこととして入札事務を進めていたが、入札不調により年度内の完了が見込めないため。

5 スケジュール

4月中旬 広告

GW明け 開札及び契約

6月中旬 復旧

年度	令和元年度							令和2年度					
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
復旧工事	(入札準備) → ● 不調							● 再入札 → 契約・着工 (工期2ヶ月弱)					